

# 営農ウィークリーNEWS

洛南管内の

## 春キャベツ

### 出荷最盛期!!



生産者から続々とキャベツが届きます。  
みんなで協力して規格ごとに仕分けします。



消費者に安心していただける『洛南地域の春キャベツ』をお届けできるよう、定期的に品質検査をしています。  
詰め方・球揃い・重量・病虫害被害などをチェック♪  
生産者の皆様、いつも丁寧な作業ありがとうございます！

5月6日（木）から、洛南支店管内の特産品である「春キャベツ」の出荷が始まりました。出荷のピークを迎えるこの時期、JA京都中央経済部営農販売課では全農京都園芸課と共に、出荷されたキャベツの品質検査を定期的に行っています。（南部集荷場）

今年は、春先からの降雨量が少なく、品質への影響が心配されていましたが、品質は良好で順調に生育しており、出荷場にはキャベツの箱がたくさん並んでいます。

出荷は6月下旬まで続き、市場を通じて京阪神の量販店向けに3万ケースの出荷を見込んでいます。

また、5月末まで高島屋京都店3階の「みのる食堂」で、洛南の春キャベツが食べられます❁  
※緊急事態宣言の影響で、平日のみの営業となります。

## -TAC Information-

農薬使用に関して！

「作物群」の分類が大幅に整理・拡充されました！



例

Q4 「みぶな」が新しい作物分類では「みすな」に含まれけど、農業ラベルに「非結球あぶらな科葉菜類」や「みすな」と書いてあっても使える？

A: 農業ラベルに「みすな」と記載されている農業は、みすな、みぶなに使用可能です。すでに「みぶな」と記載されている農業も、みすな、みぶなに使用可能です。また、「非結球あぶらな科葉菜類（みすなを除く）」と記載されている農業は、みすなが個別作物として登録されていれば、みぶなは、みすなの登録内容で使用可能です。「非結球あぶらな科葉菜類（みぶなを除く）」と記載されている農業は、みぶなが個別作物として登録されていれば、みすなは、みぶなの登録内容で使用可能です。

（公社）緑の安全推進協会  
リーフレット「え！この作物にも使えるの？」より

■「みすな」「みぶな」に1000倍で使用できます。

作物名	希釈倍数(倍)
みすな	1000

■「みすな」「みぶな」に1000倍で使用できます。

作物名	希釈倍数(倍)
非結球あぶらな科葉菜類	1000

■「みすな」「みぶな」に2000倍で使用できます。

作物名	希釈倍数(倍)
みぶな	2000

■「みすな」「みぶな」に2000倍で使用できます。

作物名	希釈倍数(倍)
非結球あぶらな科葉菜類（みすなをのぞく）	1000
みすな	2000



農業登録に関して、「作物群」の分類が大幅に整理・拡充されたことで、今まで使える農業が少なかった作物にも、使える農業が増えることが期待できます。

適用作物名が「大作物群」・「中作物群」・「小作物群」・「(個別)作物名」の4つに分類されました。適用表の「作物名」欄には、このうちどれか一つが記載されます。

左記の例ですと、大作物群は「野菜類」・中作物群は「葉菜類」・小作物群は「非結球あぶらな科葉菜類」・作物名は「みすな」となります。

「みぶな」は、「みすな」の「作物名」に含まれる別系、地方名、品種名等の例に位置し、「みすな」と同じ扱いになりました。

これにより、「みすな」に登録があれば、「みぶな」に使用でき、「みぶな」に登録があれば「みすな」に使用できることとなります。

注意すべき点がいくつかあります。

- これまで農業ラベルに記載があった作物に対して、使えなくなるようなことはありません。
  - 現行のラベルの記載内容に従って、これまで通りの分類で使用しても問題はありません。
  - 作物群があらたに追加されても、個別の作物名で登録がある場合は、その登録内容に従って下さい。（作物分類の上位と下位の両方がラベルに記載されている場合は、下位の登録内容で使用すること）
  - 登録の無かった作物や、新品種に使用する場合は、事前に必ず確認をしてください。
- 詳細については、（公社）緑の安全推進協会 tel03-5209-2511 農業工業会 tel03-5649-7191 もしくは、JAまでお問い合わせください。



# 例年に比べて早い梅雨入りにご注意ください！

令和3年5月16日、気象庁より発表された今年の梅雨入り（速報値）によると、近畿地方の梅雨入りは5月16日ごろとなっています。昨年と比べて25日、平年と比べて21日早く、農作業も早めの梅雨対策をお願いします。

## 梅雨時の野菜には根に酸素を！

### なす

梅雨時は、日照不足により様々な症状が出てきます。

ナスでは、めしべがおしべに埋もれるように短くなる短花柱花が多くなってきます。こうなると落花が多くなり、着果しても形状のいい果実は望めません。

また、ほ場の多湿条件で、根の活性低下による苦土欠症状も出てきて、全体の収量にも影響が出てきます。

ほ場の排水を良くし、根に酸素が行き届くようにすることが重要です。



めしべがおしべより短い花（短花柱花）



苦土欠乏の葉

### きゅうり

キュウリでは、梅雨の晴れ間に、突然萎れる急性萎ちょう症が発生することがあります。これは、多肥栽培が原因で、根が十分に張っていない上に酸欠で根の活性が弱り、大きな葉からの急な蒸散に対応できず、導管が詰まって回復不能になる生理障害です。

こちらでも排水を良くし、根に酸素を与えるように中耕等を行うと同時に、他の株では、発根促進のために各株でわき芽も含めて3～4本程度の生長点を残すようにし、症状の広がりを止めることが大切です。



梅雨の晴れ間に突然青枯れ症状になったキュウリ

